

地域おこし協力隊
山田さんが作製

ホタルマップをどろろぞ 北川町 観賞スポット、駐車場など紹介

延岡

山田さんが作った「北川町ホタルマップ」
その「川坂川」



延岡市北川町のシンボルであるホタルをPRしようと、同地域おこし協力隊の山田裕紀さん(35)が、観賞スポットを紹介するホタルマップを作った。同町で26日に開かれる「北川ホタルまつり」などで配布。祭りと併せ、多くの方にホタル観賞を楽しんでほしいと話している。

山田さんが作製したの
は、ホタルマップその「
川坂川」同町家田・川
坂地区の川坂川と北川本
流の合流点付近の丹
仙と呼ばれる地帯等
描きの地図にまとめた。
まつり会場の北川総合運
動公園、または東九州自
動車道北川ICから現地
までの道順、駐車場など
を分かりやすく紹介して
いる。



山田裕紀さん

同協力隊は、都市圏の
住民が地方で生活しなが
ら町内の活動に従事し、
まちの活性化に取り組む
事業。山田さんは平成28

年11月1日付で任命され、
東京都から来た。地域活
動登山やロッククライミ
ングなどの特技を生か
し、アウトドアの魅力発

舞うホタル、板
谷さんが撮影

延岡市北川町下塚の
小川支流でホタルが舞
う様子を23日、延岡市



信などにも力を入れている。

延岡市北川町下塚の
小川支流でホタルが舞
う様子を23日、延岡市

マップでは手描きの地
図情報のほかに、「ホタル
は車のライト、カメラの
フラッシュなどの明かり
が苦手です」といった観
賞の際の注意事項なども
掲載。安全に観賞するた
めの心得もあり、その中
には「ホタルが活発に飛
ぶ時間帯は午後8〜9時
です。この時間帯の観賞
がオススメ」と旨寄り
情報も紹介している。

だった

現場に着いたのは午
後7時半すぎ。周囲が
まだほかに明るかつ
た午後8時前からカメ
ラを構えた。撮影デー
タは露出30秒、F2.
0、ISO400。き
のうはほかに見物する
人もいなくて、ホタル
も逃げずに撮影はしや
すかったですね。蒸し
蒸しだったので、去年と
同じ所に行ったのです
が、良かったです。見
頃の時間帯は8時から
9時くらいと
話していた。

琴恵光 勝ち越し



妙義龍を寄り倒しで破る

5/23 10日目で給金入幕へ高まる期待

大相撲5月場所(東京)22日、延岡市出身で大相撲西国四股(10日目の)一撲の東十両2枚目の琴恵光は、前頭東16枚目の妙義龍を破って5勝2敗となった。残り、きょうも含めねられるか。初の入幕へ

期待も高まる。(3面に関連記事) 勝ち越しが懸かった一番は初の番入り後の一戦。相手は三役経験のある実力者の妙義龍と、厳しい相手との戦いとなった。 軍配が返ると、琴恵光ははたき気味に下がり、

土俵際で踏ん張ってからの逆襲。左を引っつけながら東の土俵際に追い詰めてそのまま寄り倒した。 館内に大きな拍手と歓声。琴恵光は、勝ち名乗りを受け、行司に向かって手を切って初めて軍配の資金を手にした。

「体動いた」目の前の相手に集中

8勝上げた琴恵光

10日目の勝ち越しに十両優勝、幕内昇進の可能性も出てきたことから、取組後の支度部屋には親陣が大勢話めかけた。 風戸(汗を流し、さっぱりとした表情の琴恵光は「ちょっと硬くなったかもしれないが体が動いた」まだ場所が終わっていない。考えずにいつも通り目の前の相手に集中して頑張っていた」と感想。

支度部屋は幕内の関取ばかり。周囲に遠慮したのか、思わぬインテンシブな攻勢に琴恵光は小声ながら、しっかりと答えていた。

勝った瞬間は歓喜の輪 しい相撲を取りきって

琴恵光関の父柏谷正倫さん

琴恵光関の父、延岡市山下町でちゃんこ松屋を営む柏谷正倫さんは、勝ち越しの一番を店のテレビで観戦した。 近所の人や後援会事務局の人ら15人と一緒に応援したが、勝利の瞬間を次のように話した。

「勝ち越しが決まった瞬間は歓喜の輪ができて、全員でハイタッチを交わ

内藤家に感謝

5/23 きょうう政學公の命日



政學公の墓に手を合わせる藤蔭会の(左から)酒井宗喜名誉会長と寺原会長(きょう午前、台雲寺)

きょうは、最後の延岡藩主内藤政學公(嘉永5~1852年~昭和2~1927年)の命日。延岡市の内藤家顕彰会と藤蔭会はそれぞれ供養祭と墓前祭を行い、政學公の遺徳をしのぶとともに内藤家に感謝した。

藤蔭会 台雲寺で墓前祭

延岡高等女学校の同窓会「藤蔭会(寺原八千代会長)は、延岡市北小路の台雲寺(中本光勇住職)にある内藤家墓所の政學公の墓前に集った。同会がこの墓前祭を始めて以来初の雨天だったが、墓前にテントを張って法要を営み、卒業生25人が参列。1人ずつ焼香して手

を合わせ、同校を運営した内藤家に感謝した。同校は明治9(1877)

内藤家二三福寺で頌徳供養会

内藤家顕彰会(大崎清会長)は、江戸時代に内藤家の菩提(ぼだい)寺だった延岡市北町三福寺(田村智英住職)で内藤家頌徳(しょうとく)供養会を行った。会員ら約70人が出席した。本堂で営まれた法要では、田村住職が読経する

中、参列者が焼香して合掌、内藤家の遺徳に思いをはせた。大崎会長は「身近な偉人を尊敬し顕彰することは、自分を清めることである」と述べ、「品格を持って内藤家と日本の文化を守っていかなければならない」とあいさつした。

来賓代表の山本一丸副市長は、読谷山洋司市長の祝辞を代読。同顕彰会への感謝や内藤家が同市の発展に寄与した歴史などについて述べ、「市としても内藤家の遺徳を未

く顕彰していきたい」と伝えた。

この後、同市文化課の増田肇学芸員が郷土史講話を行い、「明治維新百五十年と内藤家」と題して話した。



内藤家頌徳供養会きょう午前、三福寺